

俵宗四舎原氏 三十一

特 別

^13

4274

36





三十六編上

信房紫田舎

源氏

種彦作
貞八画

第六十六編
上冊

仙中堂梓



舎源氏第廿六編序
石山形の硯石の連る鯉と牛と本心の禮と彫て何の濃黒土
朱墨の印ありと軟鯉小濃の響きの何れと半の何ある由縁歎
知らまと日讀の丑の前の子あり鼠色の次ありれば薄の雲であらうと
あまりの廻りとを料簡それのさうでもよいはて儲あの單紙の
初編の刊行文政己丑の年あり。その母の因りれば彼の古硯と衣帯の
裏に寫させてあらうじが石山の遠から勢田の長檣あらく續き
大津八町牛車のと轉て今年天保辛丑の春とあり牛の
角文字の二の文字鯉の鱗の二十六編をめん何の意もありし
それを用ひてしるに似しるに若龍門へ逆のる運もあらう
獅子の浪の鱗あり治十帖へ渡りて全部とあらさんといふ

天保辛丑孟春

柳亭種彦



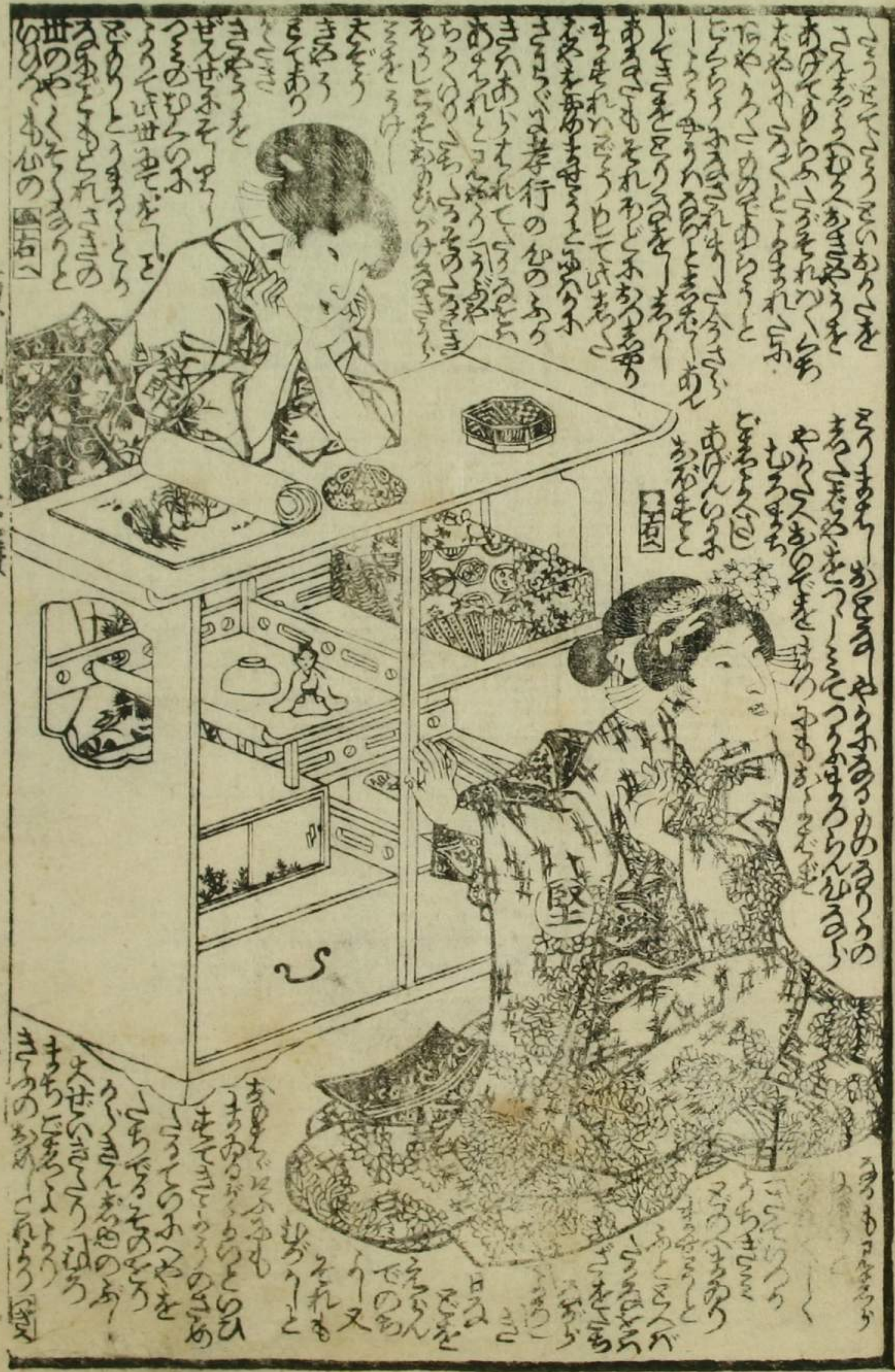
やまののちとりの
氣まことふひの
しつゝまの
木のまこふ折まろ

あまのくゝかゝぬ
むらゝあまのくゝかゝぬ
作ゝん 龍のり



かまのくゝかゝぬ
まの
けあつてそ
世あつてそ
わのぬ
なつてなれ

お方あま
あまのくゝかゝぬ
かりたろ
なつてなれ
あまの
あまの
あまの



Vertical columns of handwritten Japanese text on the left side of the top illustration.

Vertical columns of handwritten Japanese text on the right side of the top illustration.

Vertical columns of handwritten Japanese text on the left side of the bottom illustration.



Vertical columns of handwritten Japanese text on the left side of the middle illustration.

Vertical columns of handwritten Japanese text on the right side of the middle illustration.

Vertical columns of handwritten Japanese text on the left side of the bottom illustration.

Vertical text on the right margin of the top page.

Vertical text on the right margin of the bottom page.



Vertical text on the left margin of the left page.



Vertical text on the right margin of the right page.

田舎源氏



なまじりのつら
とまのり
ゆき
板根を
人か
つら

夜の煙りこそ
かり火ふくも
見えせぬ
わの海ありはれ

三十
六編
下冊



板屋鶴



種彦
國貞
画作

下巻のふみひま
あはれ風あは
あをれ
つら

かきつばたのつらさ
待たせしつらさ
かきつばたのつらさ
待たせしつらさ
かきつばたのつらさ
待たせしつらさ

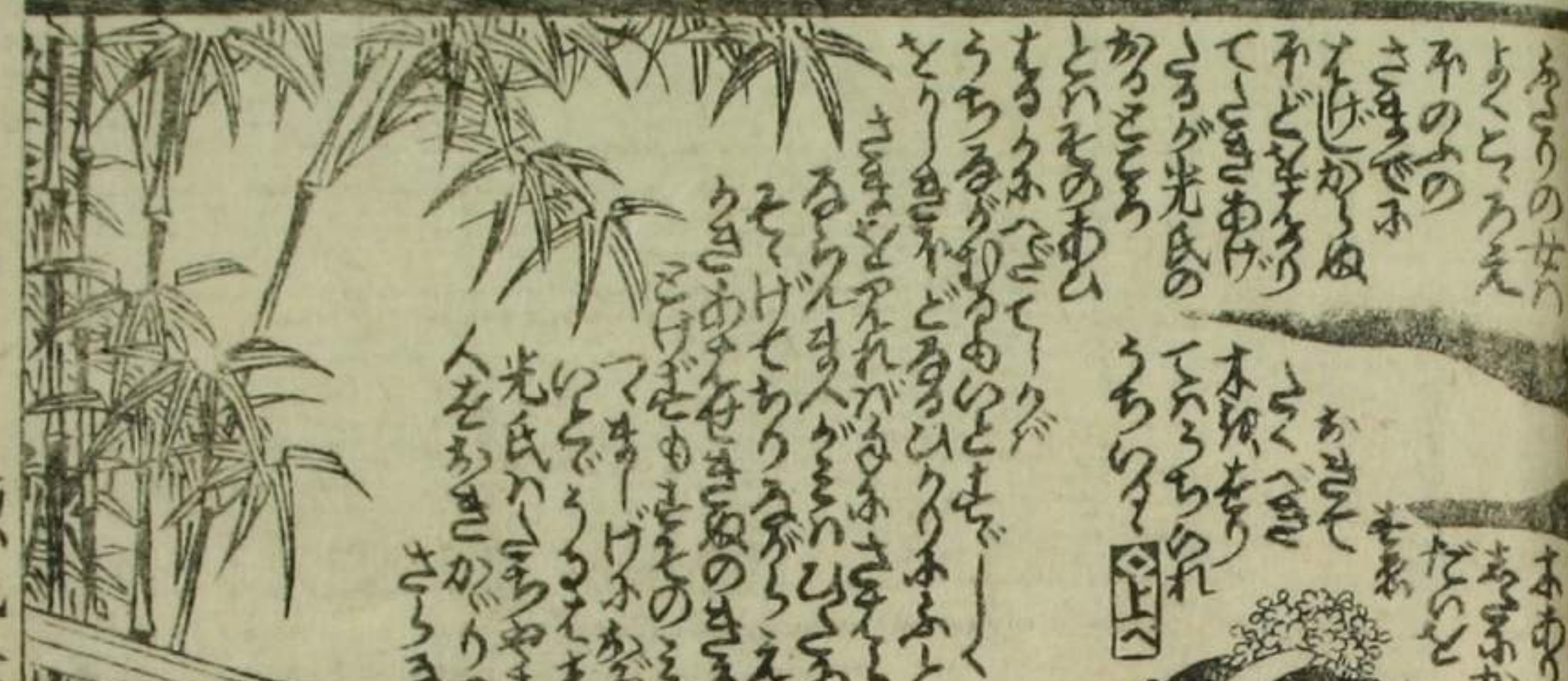
かきつばたのつらさ
待たせしつらさ
かきつばたのつらさ
待たせしつらさ
かきつばたのつらさ
待たせしつらさ

源氏三十一編



秋の夜はぬち風も... 光氏の玉を... けさの夜はぬち風も...

中... 光氏...



あつちの女... 光氏... けさの夜はぬち風も...

ひかりの... けさの夜はぬち風も... けさの夜はぬち風も...



光氏の子は...
 光氏の子は...
 光氏の子は...

男子は...
 男子は...
 男子は...

光氏の子は...
 光氏の子は...
 光氏の子は...



光氏の子は...
 光氏の子は...
 光氏の子は...

男子は...
 男子は...
 男子は...

光氏の子は...
 光氏の子は...
 光氏の子は...

